



K コマンド

この章では、K で始まる Cisco NX-OS セキュリティ コマンドについて説明します。

key

キーを作成する、または既存キーのコンフィギュレーション モードを開始するには、**key** コマンドを使用します。キーを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

key *key-ID*

no key *key-ID*

| シンタックスの説明 | <i>key-ID</i> 設定するキーの ID。ID は、0 ~ 65535 の整数を指定する必要があります。 | | | | |
|----------------|--|------|------|--------|-----------------|
| デフォルト | なし | | | | |
| コマンド モード | キーチェーン コンフィギュレーション | | | | |
| サポートされるユーザ ロール | network-admin vdc-admin | | | | |
| コマンド履歴 | <table><thead><tr><th>リリース</th><th>変更内容</th></tr></thead><tbody><tr><td>4.0(1)</td><td>このコマンドが導入されました。</td></tr></tbody></table> | リリース | 変更内容 | 4.0(1) | このコマンドが導入されました。 |
| リリース | 変更内容 | | | | |
| 4.0(1) | このコマンドが導入されました。 | | | | |
| 使用上のガイドライン | 新しいキーにはキー スtring は含まれていません。 このコマンドには、ライセンスは不要です。 | | | | |
| 例 | 次に、glbp-keys キーチェーンのキー 13 で、キー コンフィギュレーション モードを開始する例を示します。 <pre>switch# configure terminal switch(config)# key chain glbp-keys switch(config-keychain)# key 13 switch(config-keychain-key)#</pre> | | | | |

関連コマンド

| コマンド | 説明 |
|------------------------|---|
| accept-lifetime | キーの許容ライフタイムを設定します。 |
| key chain | キーチェーンを作成して、キーチェーン コンフィギュレーション モードを開始します。 |
| key-string | 特定のキーの共有秘密（テキスト）を設定します。 |
| send-lifetime | キーの送信ライフタイムを設定します。 |
| show key chain | キーチェーン設定を表示します。 |

key-string

キーのテキストを設定するには、**key-string** コマンドを使用します。テキストを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
key-string [encryption-type] text-string
```

```
no key-string text-string
```

| シンタックスの説明 | |
|------------------------|--|
| <i>encryption-type</i> | (任意) 使用する暗号化のタイプを指定します。 <i>encryption-type</i> 引数に、次のいずれかの値を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> 0 — 暗号化されていないテキスト文字列を入力します。これがデフォルトです。 7 — 暗号化されたテキスト文字を入力します。暗号化方式は、シスコの独自方式です。このオプションは、別の NX-OS デバイス上で実行した show key chain コマンドの暗号化出力に基づいて、テキスト文字列を入力する場合に役立ちます。 |
| <i>text-string</i> | キー スtring のテキスト。最大 63 文字の大文字と小文字を区別した英数字で指定します。 |

デフォルト なし

コマンド モード キー コンフィギュレーション

サポートされるユーザ ロール network-admin
vdc-admin

| コマンド履歴 | リリース | 変更内容 |
|--------|--------|-----------------|
| | 4.0(1) | このコマンドが導入されました。 |

使用上のガイドライン キー スtring のテキストは、共有秘密です。キー スtring は安全な形式で保管されます。暗号化されたキー スtring は、別の NX-OS デバイスで **show key chain** コマンドを実行することにより、取得できます。このコマンドには、ライセンスは不要です。

例 次に、キー 13 の暗号化共有秘密を入力する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# key chain glbp-keys
switch(config-keychain)# key 13
switch(config-keychain-key)# key-string 7
071a33595c1d0c1702170203163e3e21213c20361a021f11
switch(config-keychain-key)#
```

関連コマンド

| コマンド | 説明 |
|------------------------|--------------------|
| accept-lifetime | キーの許容ライフタイムを設定します。 |
| key | キーを設定します。 |
| key chain | キーチェーンを設定します。 |
| send-lifetime | キーの送信ライフタイムを設定します。 |
| show key chain | キーチェーン設定を表示します。 |

